

霞ヶ関のパパたち写真展 応援メッセージ

霞ヶ関のパパたち写真展の開催に際し、心からのお祝いを申し上げます。

2018年3月、子育て真っ最中の議員を中心とした「超党派ママパパ議員連盟」を設立して以来、全党から80名以上の議員が集い、子ども子育て政策の推進と共に、霞ヶ関・永田町の「フォーマリティ」に挑む活動を続けています。

去年は「霞ヶ関で働くママパパたちの”働き方改革”を考える」と題した総会を行い、国会対応等で深夜残業が常態化し、我が子をお風呂に入れることも出来ない、夕食すら一緒に食べられない子育て世代の官僚たちの現状に一石を投じようと、国会に議席をおく全ての政党及び政府に対して申し入れを行いました。武田良太国家公務員制度担当大臣には熱心に話を聞いて頂き、またこの度の写真展開催のご連絡を議連に頂きましたことに心から感謝申し上げます。

私ごとですが、次女を出産した際、夫が1ヶ月の育休を取得しました。生まれてすぐに耳の障がいの可能性を指摘された次女への愛しさ以上に、私を心配してのことだったかもしれません。勿論、彼の会社では初めてのことで色々な意見があったり、煩雑な手続きもあったようですが、家事育児に悪戦苦闘したり、長女と二人旅に出かける夫を見ていたら、夫婦が戦友になれる人生最大のチャンスを生きている実感がありました。

二人の子どもは今5歳と7歳。子育てと仕事の重要事項が常に衝突する「ワークライフコンフリクト」な、かけがえのない一瞬を生きています。子ども達もママとパパが互いに協力と交渉を繰り返しながら一生懸命働いている姿をみているのでは。

霞ヶ関のパパたちが、家族を愛し守りながら、公共の利益のため、その専門性を賭していけるように。世の中のパパたちが、子どもともっと多くの時間を過ごし、当然のように育休を取得できる環境を創るために。法律という「この国の当たり前」をつくる場所で、私も努力致します。

最後に…

どれもなんていい写真なんだー！泣けてきたー！

心揺さぶる写真の数々、どうか沢山の方々に
見て頂けますように。

令和2年7月27日
超党派ママパパ議員連盟
国民民主党 参議院議員

伊藤 孝恵

